



各発表者の支部学術担当らが座長

第51回愛知県柔道整復学会・第86回会員研修会

7月3日(日)午前10時から正午まで、愛整会館にて第51回愛知県柔道整復学会・第86回会員研修会が開催され、勤務柔整師10人を含む209人が参加した。



近藤英隆会員 加賀崇憲会員 大口明良会員 近藤宗徳会員

愛整学会は10時から行われ、以下の4会員の発表が行われた。

1. 超音波画像観察装置を用いた踵腓靭帯描出方法の解剖学的検討 近藤英隆会員 (笠寺)

エコー観察が困難な踵腓靭帯の描出に有効なポジションを見つけるために、大学の協力のもと解剖実習体を用いて調査。その結果、典型タイプでは足関節底屈位、足部回内位・外旋位でのストレス撮影が有効であると報告した。

2. 立方骨疲労骨折の一症例 加賀崇憲会員 (一宮)

数ヵ月を経て走行時痛が悪化した野球歴8年の16歳少年が来院。初検時所見より、MRI検査を医科へ依頼し立方骨疲労骨折と診断された一症例を報告。立方骨疲労骨折は稀ではあるが、長期間の足部外側部痛を訴える症例では、この傷害を疑う必要性があると結んだ。

3. 膝部の疼痛と圧痛部位の調査 大口明良会員 (大曾根)

支部学術部員の7施設において、膝部の疼痛を自覚して数週間経過した患者の疼痛部位と圧痛部位の関係を調査。疼痛部位は前面に、圧痛部位は後面に多く認めたことから、急性期を過ぎても注意深く触診することの大切さを再認識したと述べた。

4. 急性足関節内反捻挫への手技に対するアンケート調査 近藤宗徳 (刈谷)

急性足関節内反捻挫の手技について、刈谷支部会員に手技実施の有無や方法、目的についてアンケート調査を行ない、その結果を報告。手技に対する会員の関心は高いが、目的や方法は統一されていなかった。先行研究を踏まえて考察し、今後筆者の手技の効果を臨床的および基礎医学的視点から調査する必要があると述べた。



齋藤哲也
アドバイザー

例年は学術部・学術委員会で座長を担当していたが、今回は今春から新たに参加してもらった齋藤哲也学術委員会アドバイザー(元学術部長)が総座長として4題すべてに関わり、3題で各発表者の支部学術担当者が1題ずつ座長を受け持った。



座長(担当順)
竹上 勝・服部洋平・井垣高治・吉田実機の各担当者・部員

11時からの会員研修会は、米田病院理事長・院長の米田 實先生に「画像なしでどこまでアキレス腱断裂を安全に治療できるか」をテーマに講演していただいた。

従来、アキレス腱新鮮皮下断裂の治療は手術療法が主流であったが、最近は国内外で早期リハによる保存療法での良好な治療成績が紹介され、再断裂も統計的には同等という結果も報告されていると述べ、続いて米田病院における保存療法を紹介された。

また腰椎分離症について画像を示しながら早期発見・早期治療の必要性を説き、医接連携の実症例を提示された。



熊本地震募金130万円余を寄託

会員施術所での熊本地震募金は、総額1,312,000円にも上りました。中日新聞社会事業団での受付最終日となった6月30日(木)、森川会長・藤川副会長・長谷川副会長・小林事業部長が事業団を訪問し、坂井克彦理事長に全額を寄託しました。
ご協力ありがとうございました。



東海ブロック役員合同協議会



7月3日(日)午後2時より4時50分まで4県合わせて48人が参加して、第22回東海4県役員合同協議会が行われた。

静岡県副会長・鈴木 努理事の司会進行のもと、今回は学術・公益事業・保険・自賠責の4項目について、各県1項目を担当し代表者が発表した。混迷を深めるわが業界にあって各県とも同様の問題を抱えており、発表後さまざまな質問や問題提起が行われ今後の業界発展について話し合われた。

1. 学術関係(愛知県担当)

森川会長が画像を交えて、柔整学校カリキュラム・国家試験改善検討についての進捗状況を報告した。昨年度の国家試験合格率(64.3%)や柔道整復師登録者数(97,764名)などを示した後、カリキュラム改正案や追加領域(85単位→97単位)、国家試験出題基準の見直し案(必須問題30問→50問)などを紹介した。



2. 公益事業関係(静岡県担当)

笈川健也監事が静岡県の公益事業の内容や比率を紹介し、事業は関係法規・定款・規程に則り理事会や総会等の手続きを遵守して行なっていくことが重要であると述べ、監事は経理や法律に精通してほしいと結んだ。

3. 保険関係(岐阜県担当)

高木憲司保険部長が審査請求書を提示し、社会保険審査制度の概要や再審査請求の流れなどを解説した。

4. 自賠責関係(三重県)

伊藤宣人副会長(県会長)が自賠責保険の対応について説明。一括請求のメリットやデメリット、加害者請求や被害者請求の流れや請求方法、その他ケーススタディなどを詳述した。

6月26日(日)午後1時から、日整会館において日整通常総会が開催され、本会より森川会長(日整理事)ほか5名の理事(代議員)が出席した。



平成27年度決算案や会費規程(改正案)などが審議され上程どおり承認されたが、想定より多く集まった熊本地震支援金の使途案について、執行部提案の余剰金を原資とする災害基金設立の是非について激論が交わされ、まずは罹災状況を見つつ日整災害見舞規程に準じた拠出をし、その上で基金を設立することが承認された。

※支部担当者(岡崎・経理)及び選挙管理委員に変更がありました。

支部長	支部担当者								
	総務	経理	保険	学術	広報	事業	柔道	介護	
岡崎	石川益郎	山本正大	本田純晴	永田聖雄	石川英一	菅沼秀生	黒瀬広幸	作田新之助	井上 浩
選挙管理委員会	浅野康	山本かほり	丸谷康男	梶屋隆行	平岩一郎	笠巻貴史			
	河内 保	今野雅信	作田新之助	藤田雅祐					